



サンコー物産(株)は地球温暖化防止に取り組んでいます

未来が変わる。日本が変わる。

チャレンジ
25

サンコー未来★夢通信

感謝

全員で結果を創る
大樹の経営実践部隊

2010.10. 秋号 vol.5

<http://www.sankobussan.co.jp>

商品紹介

あなたの住まいは大丈夫ですか?

地デジの前に、まず耐震!!

国土交通大臣認定

認定番号 FRM0256・FRM0257



- 1.木造住宅は「柔構造」「剛」ではなく「柔」を極めた万能金物
- 2.土台・柱・梁の抜け防止に、コボット接合システム
- 3.国土交通大臣の認定を受けたコボット壁用システム新築・リフォームに!
- 4.壁補強は当たり前!これからは水平面の補強が必要不可欠!コボット水平システム

皆様の命・住宅を地域から守りたいという信念のもと、地震・台風に倒れにくく粘って耐えるための家作りのお手伝いを致します。皆様は、いつ頃に建てられた住宅にお住まいですか? 今、木造住宅の耐震や補強を真剣に考えてみませんか?

第2回世界会議「乱気流時代の思考」

～21世紀ブレクスルー思考と統合思考の実践～ 総務部

議しす様がハた考の導合しれ実マ統さおの2
かい人々中心に実入めマ我メン実践で合1れい期0
ら思が国イ中京大に実入めマ我メン実践で合1れい期0
から考が心大京大に実入めマ我メン実践で合1れい期0
や集ななイ中京大に実入めマ我メン実践で合1れい期0
信が々々中心に実入めマ我メン実践で合1れい期0
して学らななイ中京大に実入めマ我メン実践で合1れい期0
らおを乱1世京大に実入めマ我メン実践で合1れい期0
こ流を気50界京大に実入めマ我メン実践で合1れい期0
れの時00呼男省三時とん普教間て1経我う学2
ま世代名をか教授でも3営社う
た会新越け授やし参社をもテ



住宅エコポイントって何? 総務部

エコ住宅の新築またはエコリフォームを促進することにより、地球温暖化対策の推進及び経済の活性化を図ることを目的としています。

住宅エコポイントは地球温暖化対策の推進及び経済の活性化を図ることを目的としてエコ住宅を新築された方やエコリフォームをされた方に対して一定のポイントを発行しこれを使って様々な商品との交換や追加工事の費用に充当することができる制度です

住宅エコポイントの延長について

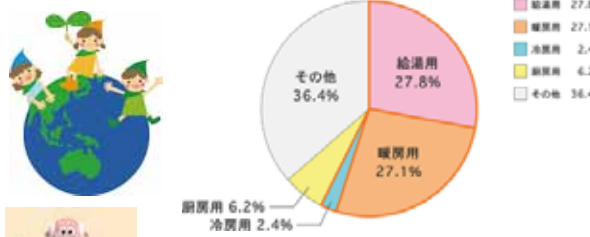
平成22年9月10日に閣議決定された、新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策において住宅エコポイントの延長が位置づけられました。エコ住宅の新築、介護にも役立つバリアフリーリフォームを含めたエコ住宅へのリフォームに対してポイントを発行する制度を1年延長する(平成23年12月31日まで延長)

- ポイントの発行対象
 - エコ住宅の新築
 - エコリフォーム
- ポイントの交換対象
 - 省エネ環境配慮製品
 - 各都道府県の地域産品
 - 全国型の地域産品
 - 商品券・プリペイドカード
 - 地域型商品券
 - 環境寄附
 - 追加で実施する工事費用への充当

省エネまめ知識 総務部

省エネ時代なのに、家のエネルギー消費量は増えている?
省エネやエコはすでに世の中に広まっているように思えますが、実は家庭のエネルギー消費量は増え続けています。民生部門のうち家庭部門における2010年度のエネルギー消費量は、1990年度比で約30%のプラスになると試算されているほどです。その原因は、私たちのライフスタイルの変化に試算されています。便利で快適な生活を追求した結果、私たちの身の回りには実に多くの家電製品やガス・石油機器が普及しました。日本では核家族化が進んだ結果、人口は減少傾向にあるものの、世帯数はいまだに増え続けています。各種機器の保有台数もこれに比例するように増加しているため機器の効率が向上しているものの家庭でのエネルギー消費量は増加しています。これには、高齢化による在宅時間の増加など、複合的な要因もあるようです

エネルギー消費量の大半を占める冷暖房と給湯を見直そう
家庭の中では実にさまざまな形でエネルギーが使用されています。その中でも大半を占めているのが、冷暖房と給湯です。内訳としては、給湯用27.8%、暖房用27.1%、冷房用2.4%、厨房用6.2%、その他(冷蔵庫、照明、テレビなど)が36.4%。この数字から、省エネを考える上でポイントとなるのが、冷暖房と給湯の方法の見直しであることが理解できます。



冷暖房や給湯器の選び方によって光熱費に大きな違いが出てきますからよく検討しましょう。

サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL: 06-6533-1271 FAX: 06-6543-0914

理念

未来を見つめて、慈悲の心と感謝の気持ちで働ける企業を目指します。
未来を見つめて、常に共存共栄の精神で社会に貢献する企業を目指します。

残暑とはいえまだまだ厚さが残る8月24日、梅田の大阪駅前第2ビル5階にある大阪市立梅田生涯学習センターにて、「これだけはやっておくべき企業の天変地異への危機管理」と題して、株式会社総研代表取締役山口泰信講師のもと講義を伺いました。講師はその記憶に残る阪神大震災に直面し、地震の恐ろしさ、人間模様を直視して、ボランティア活動の最前線で活躍をされた方です。復興現場での経験、当時の映像、その現場では実際に何が必要なのか？企業や学校で今すぐできる災害対策、マニュアルで明かされない被災地の現実、企業の危機管理の甘さが浮き彫りになっていました。当社も行っていきます3S活動その先に5S活動、この5S活動は社員と会社の命を守る事に役立ちます。事業継続計画(BBCP)を作成し、5S活動を徹底させる真意についてのお話を伺いました。危機管理意識の向上が、あなたの命を救います。



関西第二営業所 所長 平岩 健三



大阪府立安部高等学校様よりのお礼状
 貴社にてインターンシップの機会をいただき、大変貴重な体験をさせていただきました。この経験を通じて、社会人としての自覚と責任感を身に付け、今後の学習とキャリア形成に活かさせていただきます。また、貴社の方針や業務内容について学びました。ありがとうございました。

ジュニア・インターンシップ実習生を受け入れて

関西第一営業所 所長 亀野 弘一

今年の7/13-7/14の2日間にジュニア・インターンシップ実習を行いました。簡単に説明しますと、学生が在学中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行なうことで、学校と企業との連携によって行なわれるものをいいます。当社では今年が2回目の受け入れです。私が総括責任者として任せて頂いたのは今回が初めてでした。それに今年は異例で女子生徒2名ということも有りまして、スケジュールを立てる所から気を使いながらの作業になりました。当日は当社の仕事の流れ、仕事の体験を各部門で行ない、皆さんの協力も頂きながら事故もなく無事終わった時には、ほっとしました。その反面、反省も多く、こちらの思いがどのくらい伝えているかが出来たのか、まだまだ課題も多いです。来年もチャンスがあればチャレンジしたいです。

3S活動について

関西第二営業所 榎田 淳一



3S活動に取り組む2年が経ちました。整理・整頓・清掃・掲げた標語だけを見れば一見子供供した風に見えるかもしれませんが、会社組織における3Sにはより深い意味があることが徐々にわかってきました。3S活動から得られる効果には、生産コストの低減、人的資源の効率化があります。前者は故障の低減・無駄の排除・クレームの減少によって実現され、後者は社員のやる気高揚、モラルの向上からもちあわされます。当社でも社内環境は以前より改善されました。ですが倉庫の問題等、目に見えて効果が出ないのも現実です。そこで大事なのは現場スタッフの更なる意識改革です。それが自らの意思で率先行動を仕掛けていくことが大切ですが、たかが3S、されど3S。効果は必ず得られると信じ、これからも皆と協力し、よりよい環境を作りたくです。



今月のいきいきさん



関東営業所 辻 英俊

先月より関東営業所に転勤となりました。十年ほど前に横浜に任されたこともあり転勤に関しては特に抵抗ありませんでした。家庭の事情に依り単身赴任ということになりました。会社の方でも色々配慮頂き感謝しております。営業で神奈川県全域を担当することになり、当時住んでいた所や仕事で良く通っていたところなどを通ることもあり、懐かしさを感じたり、新しい道ができていく道を開通したり、何も無かったところが急に開けていたり、10年間の変化というものを楽しんでおります。営業所での業務も本社は異なる在庫をほとんどしないことやコンシューマーシステムの違い、業務の進め方の違いなど戸惑っていることも多いですが、細川社長はじめ営業所の皆様を支えられながら何とかやっていっております。一日も早く関東営業所の戦力となるべく今まで以上に努力していきますので、よろしくお願ひします。

第13回村岡ダブルフルウルトラランニングに参加して

取締役副社長 細川 真一



村岡は周囲を鉢伏山(八チ北高原)1221mや蘇武岳1074mなど、1000m級の山々に囲まれた土地で村岡ダブルフルランニングは、この山々を次々と駆け巡っていく山岳マラソンのことです。コースは44km、88km、100kmと3種類あり、私は一番距離の短い44kmにエントリーしました。標高差は44kmで470m、88kmと100kmでは900mにもなります。高く長い上りをやっとの思いで上りきり、下ったかと思うとまた上りが待っています。楽しむどころか体力的にも精神的にももつきいコースで、正に地獄マラソンです。でも、それだけにエイドや地元の人達の応援は他の大会に負けられないの一生懸命さが伝わってきます。応援が手薄になる蘇武岳と二峠の上りはランナーの名前入らカードでメッセージによる声援が待っています。このゴール間近のプラカードメッセージには心の底から励まされます。午前10時にスタートし、ゴールにたどりつく頃は周囲は真っ暗、8時間51分10秒での完走でした。来年は完走した瞬間「苦しかったが、楽しかった」に変わるように、もっともっと練習をしていくつもりです。村岡へ向かう日、会社を出発する時に社員さん総出で送り出してくれました。ゴールの瞬間、遅い時間にも関わらずゴール地点で多くの仲間が待っていてくれました。涙が出るほど嬉しかったですね。本当に疲れましたが、生涯の記憶に残るチャレンジでした。応援してくれたみんなに心からありがとう。感謝

編集後記

総務部

四季の移り変わりは早いものです。今年の夏は本当に暑かったのですが早くも本格的な秋が訪れてまいりました。いつも弊社を支えてくださっているお取引先様には心より感謝申し上げます。我々では、昨年来より五つの人間力を高めて業績を向上させる「メンターシップ経営」を導入し一年が経過しました。更に、昨今の経済不況を乗り越えるため、本年3月より教育研修プログラムを計画し現在まで継続して勉強中です。メンターシップ経営を通じて私達と共に業績向上を目指しませんか？メンターシップ経営に興味のある方は、弊社営業担当者又は担当事業所まで御一報下さいませ。

傾聴マネージャーメント学科
 ジョインメンター®育成
 2011年1月開校
 NAOI®認定インストラクター

私の提言

- 変化の抵抗の底にあるものは無知である - 人は変化するというのを避ける。その抵抗は無知によるものであり、未知への不安がそうさせる。しかし、変化は機会と見なすべきものである。変化を機会として捉えたとき、初めて不安は消える。

中部営業所 和木 健二